

「エクサバリュー フォーラム特集」 の発刊によせて



取締役 技術推進部門担当 山田正彦

日々進歩し革新を遂げる情報技術、刻々と変化し多様化するユーザーニーズ。情報サービス企業は、一瞬たりとも立ち止まることの許されないめまぐるしいビジネス環境にその身を置いています。

当社もこのような環境の中で、技術力向上に向けて日々の研鑽を怠ることなく、先端技術の修得、サービス品質向上のための技術力強化に努め、お客様により良いサービスをご提供できるようさまざまな施策を実施しております。

その施策のひとつに「エクサバリューフォーラム」があります。これは当社の先端技術やベストプラクティス、あるいは外部活動等の発表を通して、技術者集団であるエクサ全体の底上げを図ろう。さらにはお客様とのコミュニケーションに役立つ情報を吸収し、お客様により良いご提案をすることにより、エクサへの信頼をより高めていただこう。そんな思い込めて2002年にスタートし、本年その第4回を実施しております。特に本年からは、ともに技術力の向上を図り、より良い協業を目指すために、日頃当社と協業していただいているビジネスパートナー様にも多数ご参加いただき、大いに活況を呈しました。

今回のexa reviewはこの第4回「エクサバリューフォーラム」で発表された内容を中心に、日頃の技術力向上に向けての研鑽の成果をまとめました。

一方、当社では社員のキャリアパスの明確化と、キャリアパスに沿ったスキルの育成を図るためにプロフェッショナル制度を設けておりましたが、本年11月に当制度初めての9名のプロフェッショナル（プロジェクト・プロフェッショナル3名、ITプロフェッショナル3名、シニアITアーキテクト3名）が誕生しました。

この9名のプロフェッショナルはそれぞれの領域の第一人者として全社的な立場に立ち、ビジネスの推進、プロジェクトの遂行に、その高度なスキルを生かすとともに、メンタリングやコミュニティ活動を通してスペシャリスト、ITエンジニアなどの後進の指導・育成にあたり、当社の技術力の向上に貢献します。それ以外にも当社の技術者の代表としてさまざまな対外活動を展開していきます。

次号のexa reviewはこれらプロフェッショナルの特集を組みたいと思っておりますのでご期待ください。exa reviewは今後とも、このようにさまざまな特集をおりませながら、技術の進歩に応じた、そして時代の変化に即した情報をお届けしたいと思っておりますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。